

ともだちもぜい病



マルムギ コウジ
丸武義晃嗣

この世はむなし...

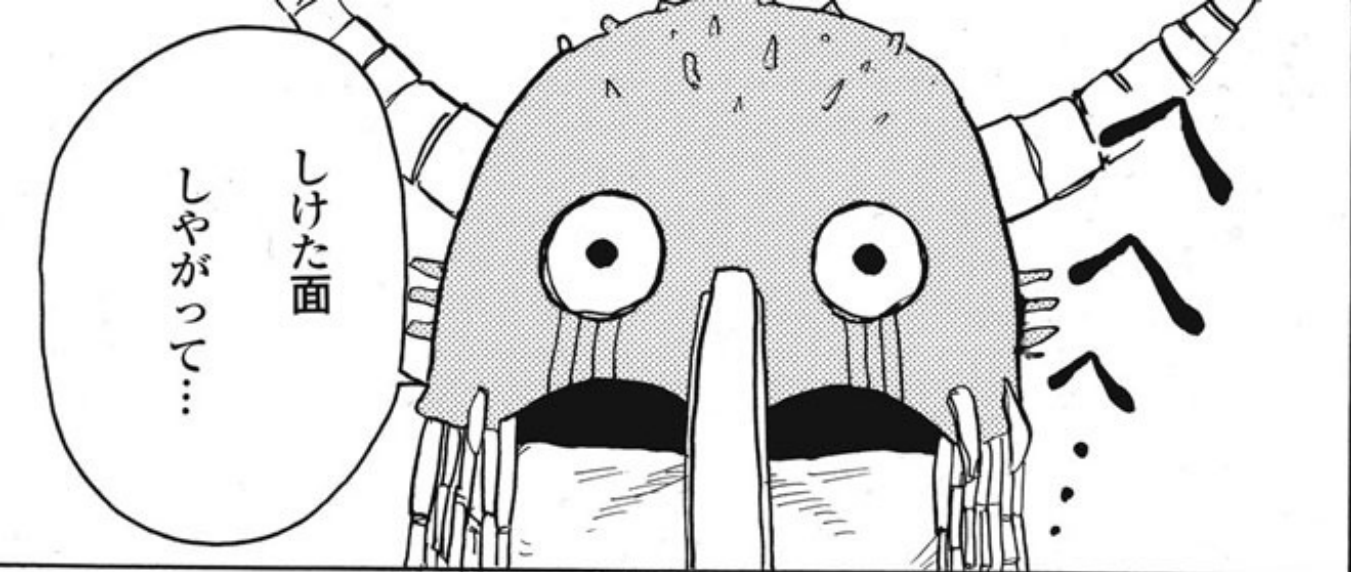


俺は...すべては
歴史のほんの一瞬の
ゴミのような存在だ



とんでもないぜ病





しけた面

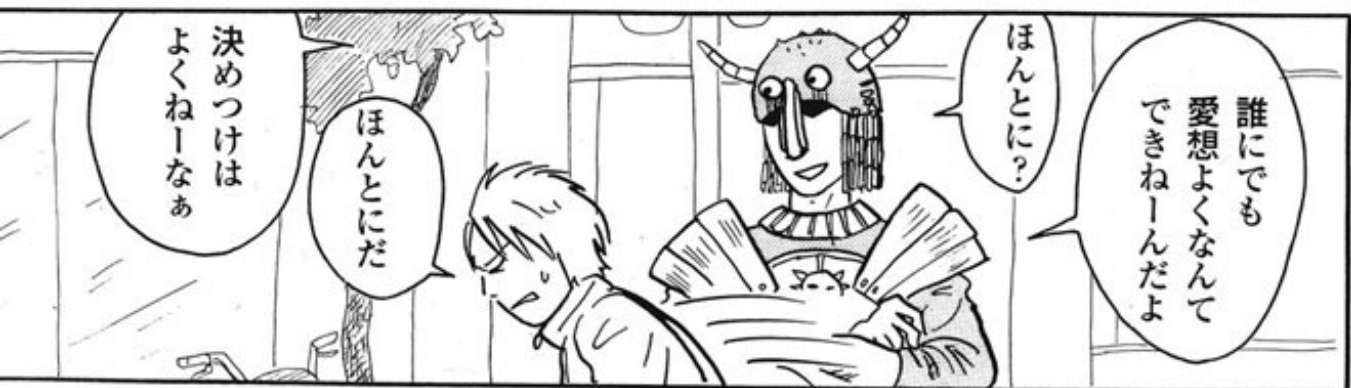
しやがって…



おめーみてえな
無愛想な働き手は
誰もほしがらねえ…



また
おまえか…



決めつけは
よくねーなあ

ほんとにだ

ほんとに？

誰にでも
愛想よくなんて
できねーんだよ

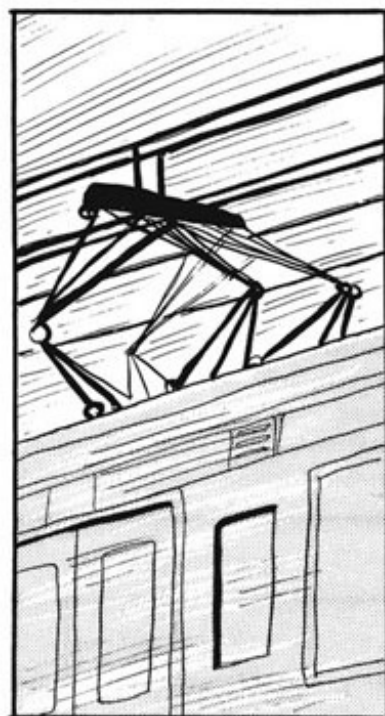


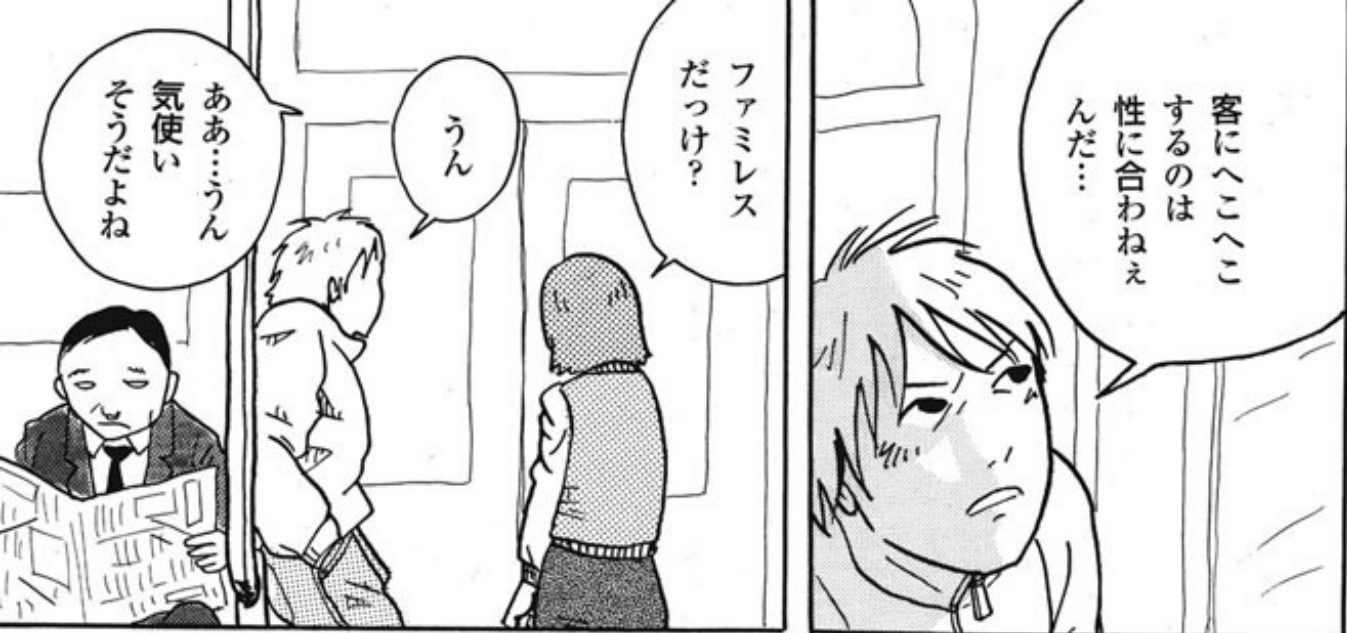
おまえは
根性なし
だな…



おっと

うせろ!!









じゃあ
また明日!



なんか
ちがうぞ
それ

つらいのう

もてる女は



……
また
酒飲んで
るのかよ……



ただいまー



はら減ったー
なんか作れ



ちえっ
なんにも
ねえなあ

カハッ



あんた
まだ未成年
でしょ



あ……
これは
母さんの
お酒



これっ!

ちっ

あさって
父さん
帰って来る
わよ

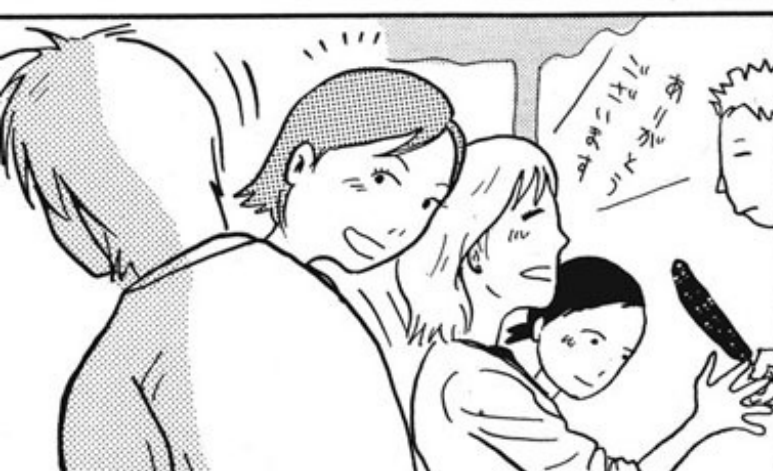
OSAKI
NEW
NEW

失望
したぞ！

高い金払って
塾にも行かせた
のに
落第しやがって…

父さんは仕事で
数年家を空ける
けど、その間に
もっと勉強しとけ

おまえには
期待してんだから











「諸行無常だよ」

すべては移りゆくはかないもの…
何かに執着するなんてバカバカしい」

「……」

「だめだよ、もっとがんばらなきゃ」

「だってやばいよ」

「締め切り今週いっぱいでしょ」

「どうでもいいよ」

「適当に生きてりゃいいんだよ」

「しよせんすべて宇宙のゴミじゃん」

「……」

「じゃあ…」

あたしがストーカーにあつてて
つらい思いをしても

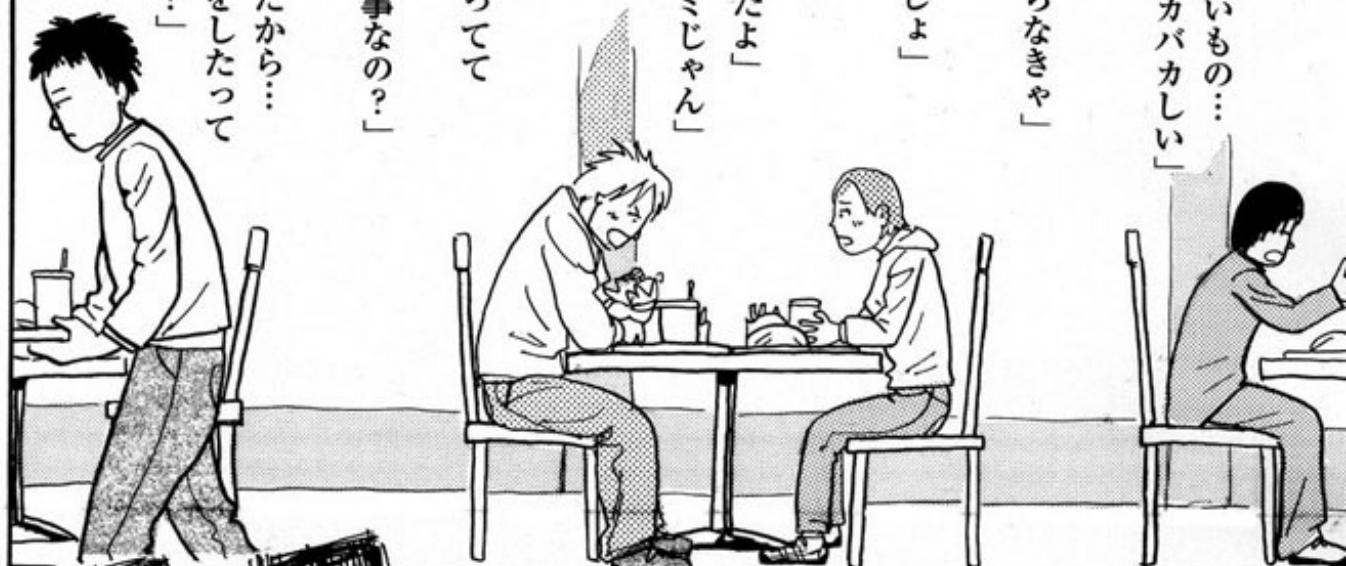
それもどうでもいいって事なの？」

「あたしは宇宙のゴミで

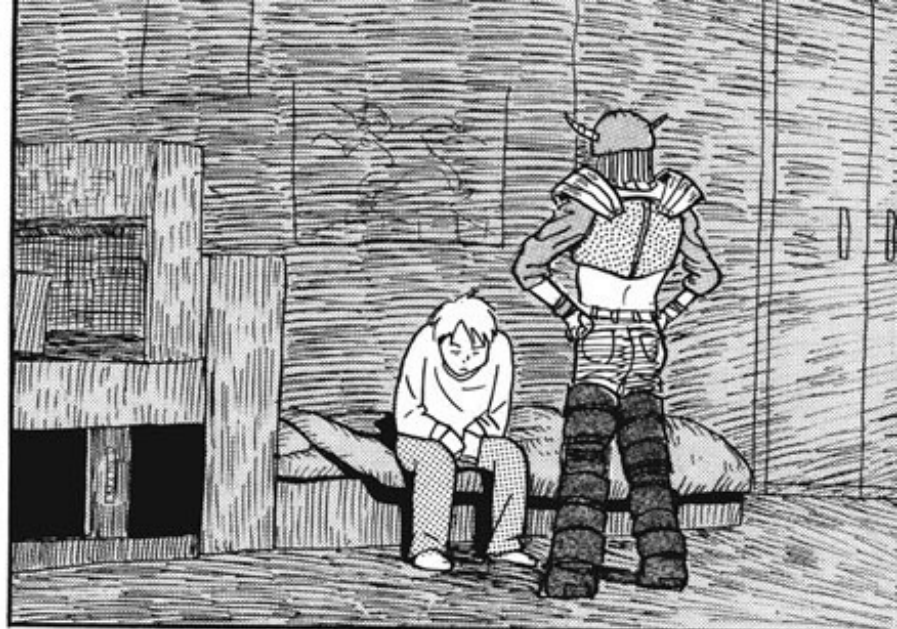
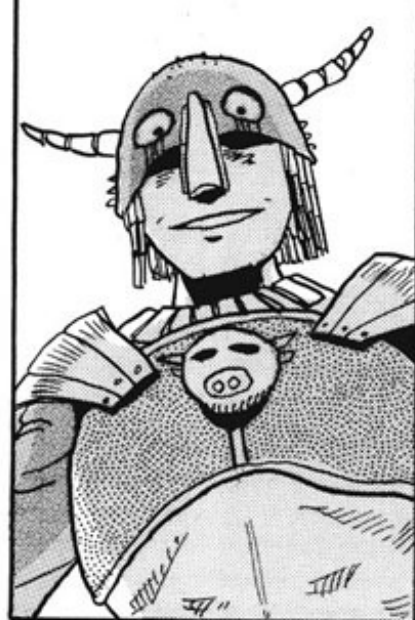
ストーカーも宇宙のゴミだから…

ストーカーがあたしに何をしたらって
どうでもいいって事なの？」

「……ふん！」







この世は
諸行無常ってか？

誰の言葉だ？
そりゃ？
そいつが本当に
おまえの
心からの
言葉なのか？



この世は
はかないのか？

そうだ

生きる意味
なんてないのか？

そうだ

生きる理由
なんてないのか？

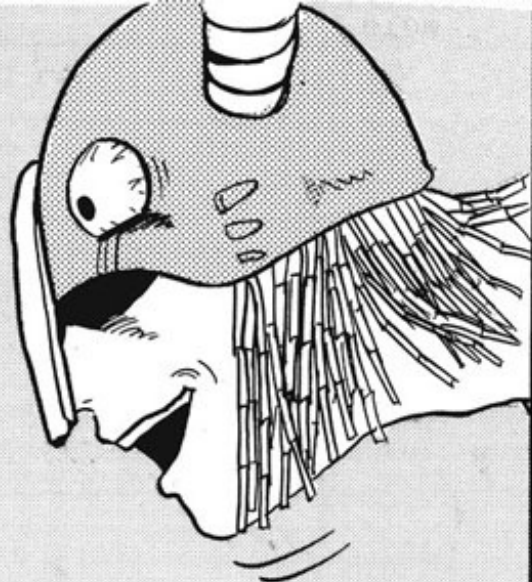
そうだ

生きるのは
むなしいのか？

…そうだ

じゃあ、死ねよ！

よ 死ね



いいかげん

おめーの
そのいじけた妄想
にはうんざり
するぜ



今日けんかした
彼女…

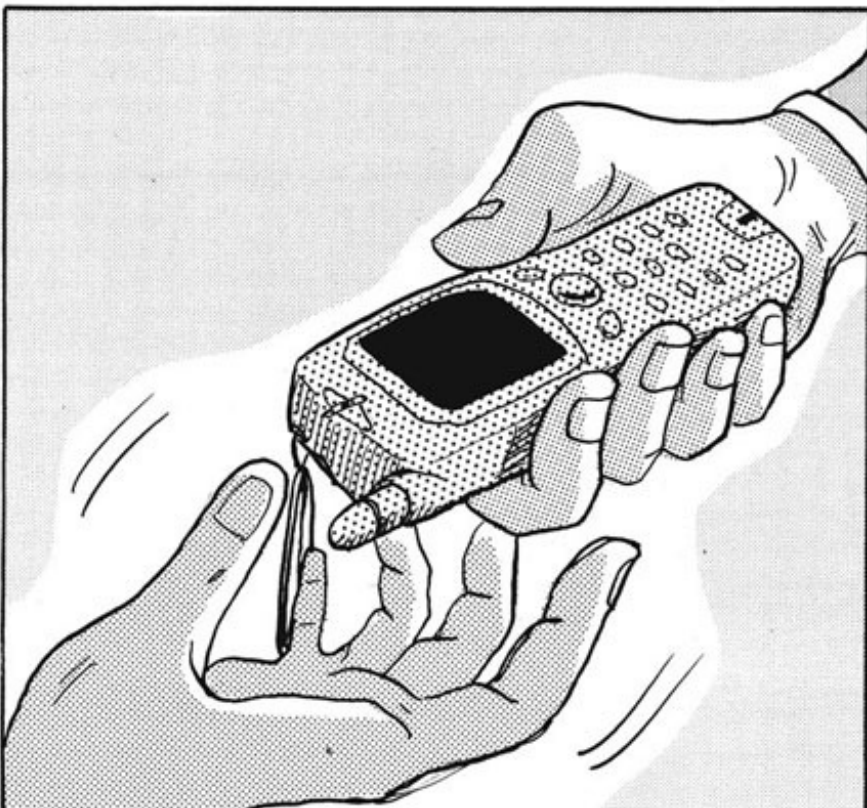
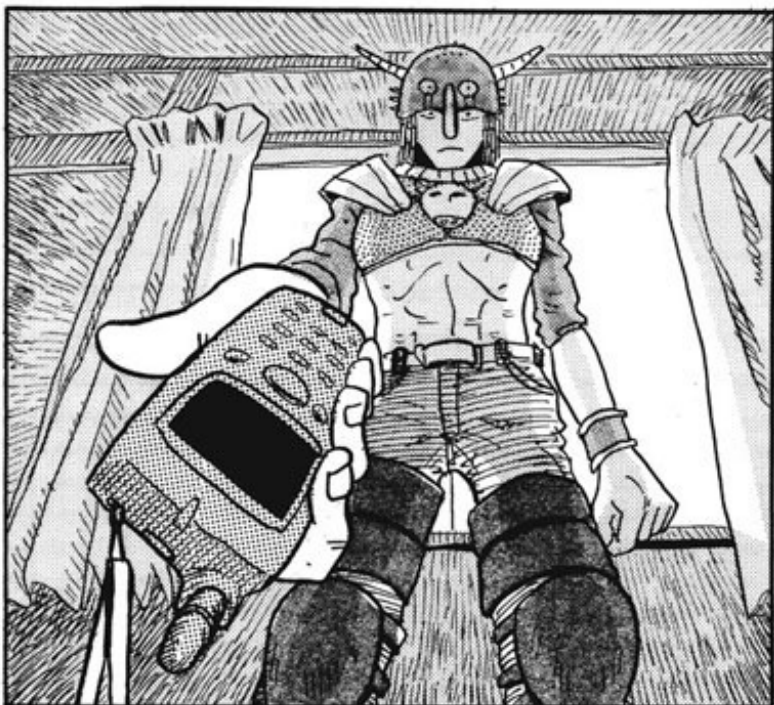
おまえなんかより
ずっと強い

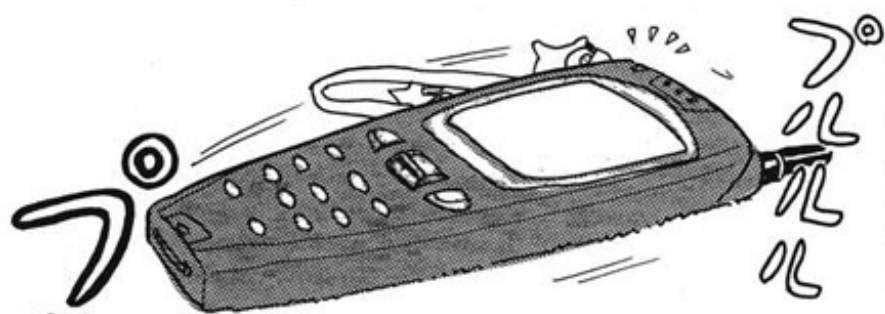
おまえみたいに
妄想に寄りかかって
ないぞ

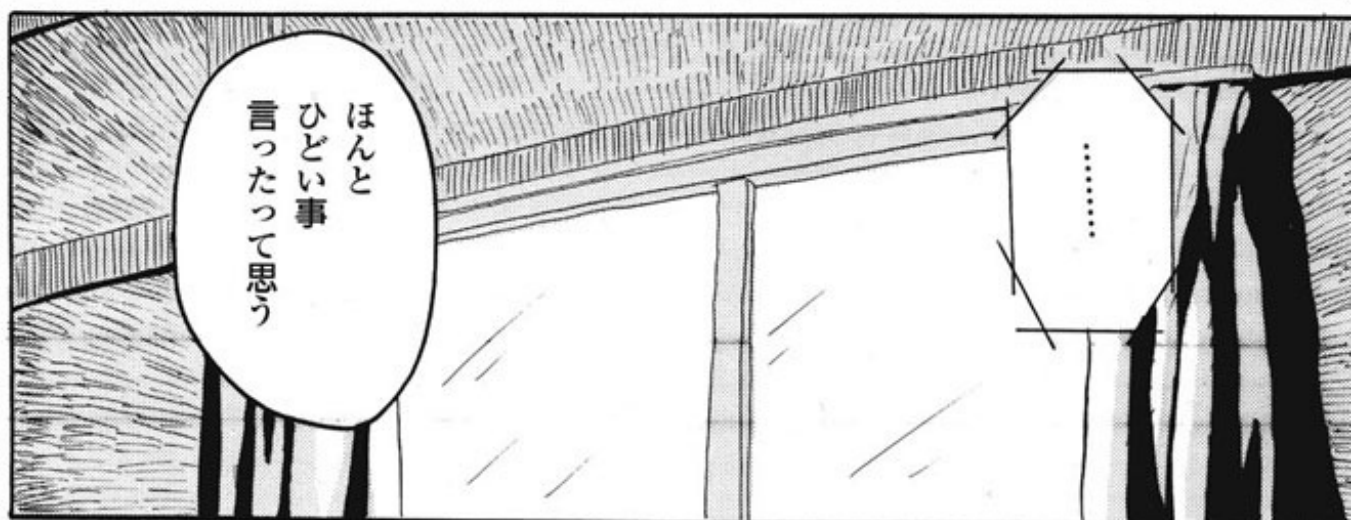




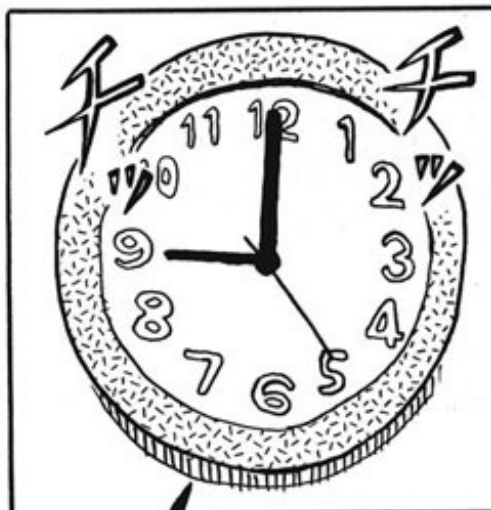
おまえには
彼女のような
子が必要
なんだよ…









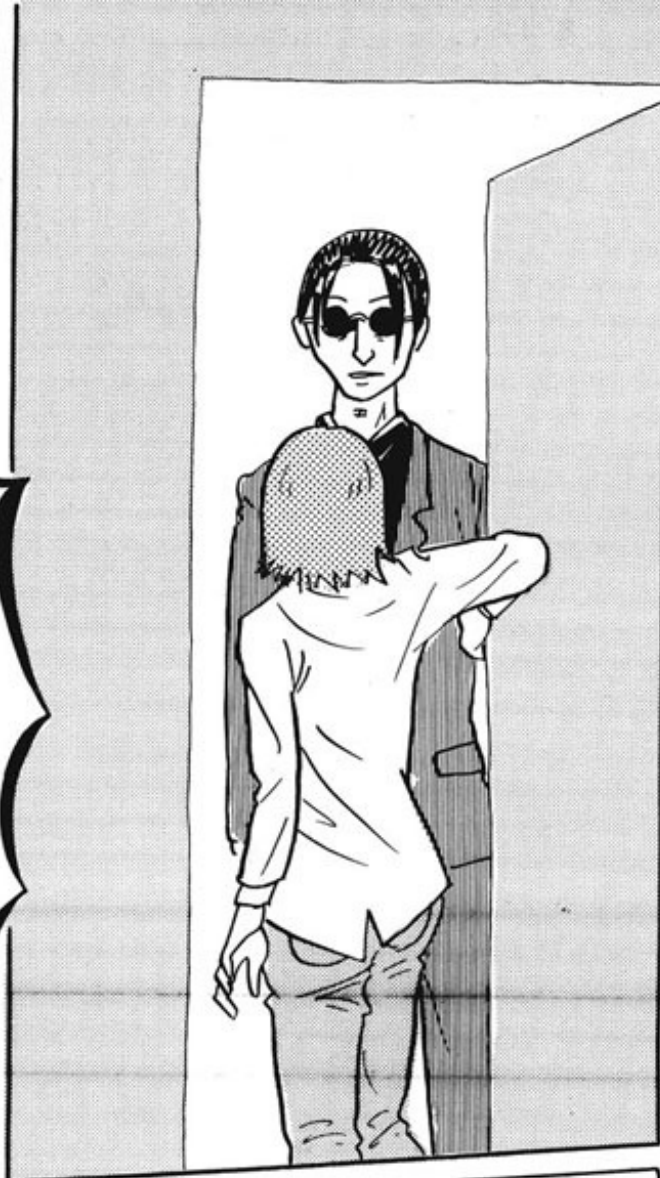


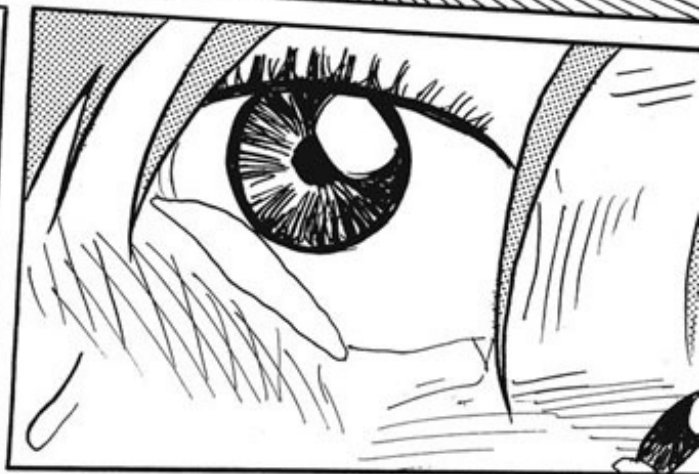
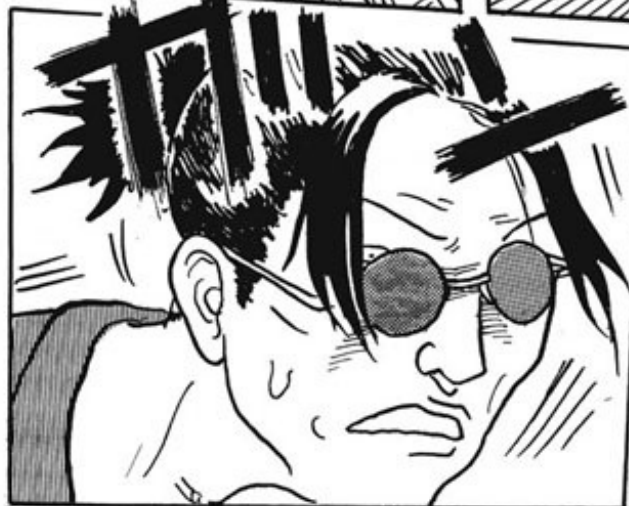


きゃーっ



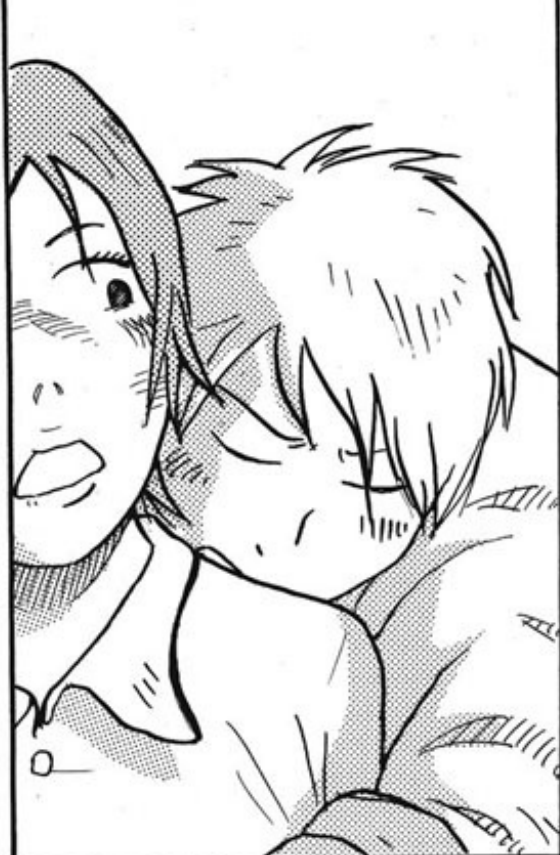
うぐっ













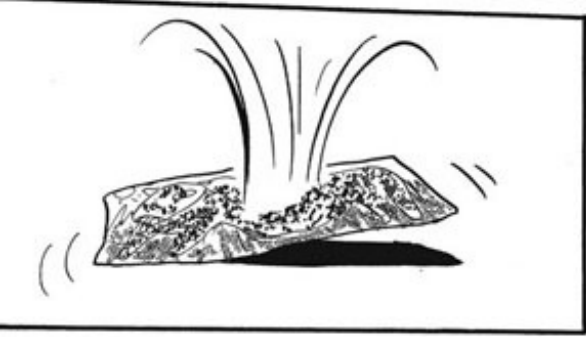






おわっ!

ヒョー



なんだか
説教する
事もなく
なったし：
俺はおさらば
するとするぜ！



ない
何でも
ない

……
あんた
何やってんの？



触れて
感じて
わくわくして……



はは……

どうでも
いいわけ
ないよな！

